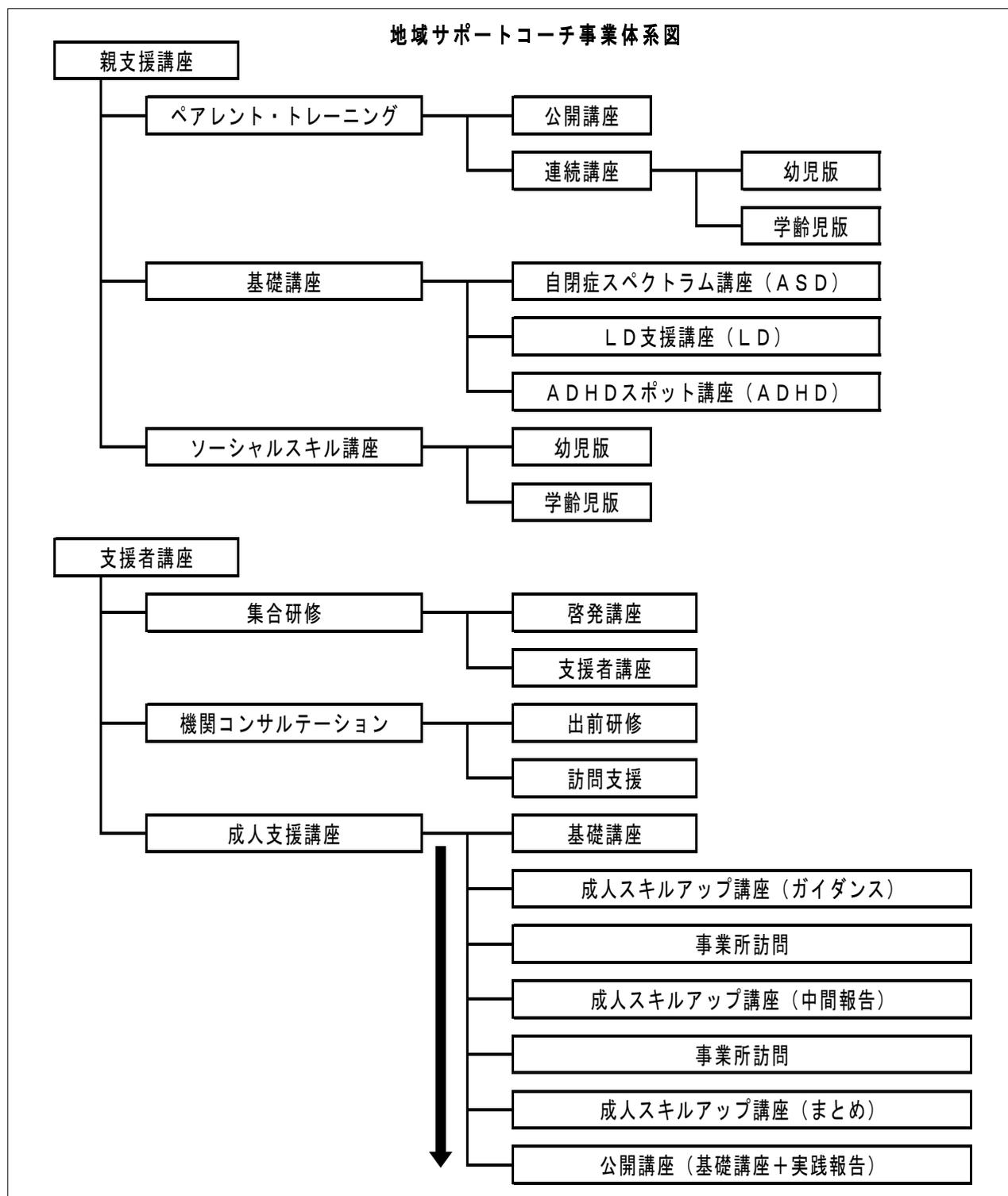


発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化  
（平成26年4月～平成27年3月）

事業概要

地域サポートコーチ配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



## 【 取 組 状 況 】

## 親 支 援 講 座

## 【1】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

## (1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

## ★実施4回

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
4/22	阿倍野市民学習センター	22	28	50
7/29	ドーンセンター	32	21	53
9/2	子ども文化センター	41	17	58
12/2	西淀川区役所	28	30	58
計		123	96	219

## ★公開講座アンケート結果（回収率86%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	127
参考になった	49
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	1
無回答	10
計	188

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	130
わかりやすかった	48
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	10
計	188

## 【感想・意見】

- ・ずっと悩んでいたことの解決の糸口をつかめた気がする。是非連続講座を受講したい。
- ・「当たり前」のことを上手に褒めることができるようになりたいと感じた。
- ・保護者にも勧めたいが、難しい面もあるので具体的アプローチを教えてほしい。（支援者）
- ・これまでにたくさんの講座を受講してきたが、とても参考になった。（支援者）

## ★ペアレント・トレーニング実践報告会 実施1回

日程	会場	内容	参加者数		
			保護	支援	計
3/17	子ども文化センター	基調講演・実施報告・体験談	59	45	104

## ★アンケート結果（回収率80%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	44
参考になった	34
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	5
計	83

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	42
わかりやすかった	35
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	6
計	83

### （2）ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

★実施72回（幼児：6回×6クール、学齢：9回×4クール）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護	支援	計
幼児	4/23～7/9	早川福祉会館	10	1	11
	9/4～11/13	長居障がい者スポーツセンター	10	1	11
	9/10～11/19	市民交流センターなにわ	13	1	14
	11/29～3/7	子育ていろいろ相談センター	15	1	16
	12/3～2/18	住之江会館	9	1	10
	1/15～3/26	福島区民センター	12	1	13
学齢	5/20～11/4	早川福祉会館	10	1	11
	6/6～11/21	長居障がい者スポーツセンター	9	1	10
	10/14～2/24（高学年）	阿倍野区民センター	8	1	9
	11/21～3/20（低学年）	大阪市立中央会館	10	1	11

### （3）ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。（平成25年度も含む実施済の講座のフォローアップ）

★実施12回

対象	日程	参加者数
		保護者
幼児	6/11	9
	6/13	6
	6/27	4
	7/23	6
	10/9	5
	10/29	6
	1/16	11
	1/28	8
	2/5	14
	2/17	11
学齢	6/9	7
	1/13	7
計		94

## (4) ペアレント・トレーニング《区役所版》

★実施39回（幼児：5回＋フォローアップ1回×5クール、学齢：9回×1クール）

実施区	期 間		対象	参加者数
	[連続講座]	[フォローアップ]		
淀川区	5/9～7/4	10/10	幼児	9
城東区	5/12～7/28	10/6	幼児	7
港区	5/19～7/14	10/20	幼児	11
此花区	10/21～12/16	2/24	幼児	9
旭区	10/27～1/19	3/9	幼児	11
生野区	10/8～3/11		学齢	8

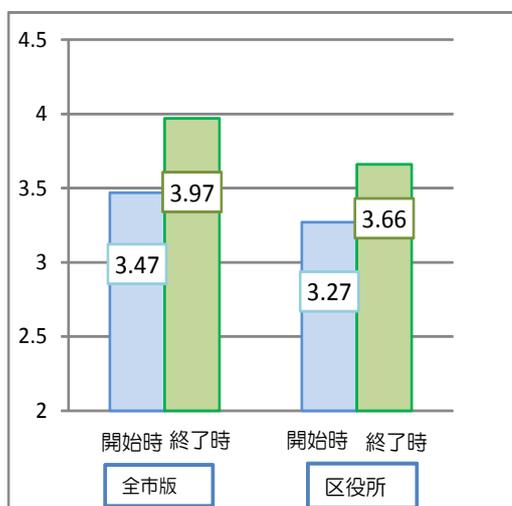
## 【感想・意見】

- 保護者
- ・具体的な方法がわかり、実践しやすかった。
  - ・家族以外の人意見や体験談を聞いたことが、今までの自分の育児を振り返るきっかけとなった。
  - ・日常生活で当たり前に行っていることでも本人にはすごく頑張っていることだと理解出来た。
- 区職員
- ・参加者同士の繋がりができ、お互いに話し合いの中で解決していく姿が見られた。
  - ・参加者の表情が回を増すごとに良くなっていくのが見受けられた。
  - ・発達障がい児への支援方法がわかり、個別の支援にも活かせると思った。

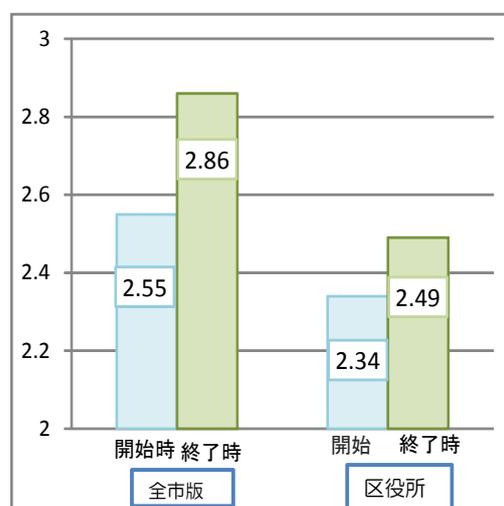
## (5) ペアレント・トレーニング連続講座実施結果（参加前後アンケートの比較）

対象者：終了者142名 [全市版100名（学齢児42名・幼児58名）、区役所版42名]

## 【自信度】



## 【ストレス軽減】



## 【2】基礎講座

## (1) 自閉症スペクトラム障がい講座 (ASD)

「自閉症スペクトラム障がいのある児童の理解と支援」をテーマに、作業療法士から特性や環境調整について講演し、家庭での取り組み方法を学習する。

## ★実施16回 (4回×4クール)

内容	日程	会場	参加者数 (延べ)		
			保護者	支援者	計
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	6/10・17 7/1・8	市民交流センターなにわ	97	37	134
・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること	9/6・13 9/20・27	子育ていろいろ相談センター	54	0	54
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	11/11・18 12/2・9	西区民センター	67	43	110
・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること	12/6・13・20 1/31	子育ていろいろ相談センター	36	0	36
計			254	80	334

## ★アンケート結果 (回収率87%)

講演内容について (満足度)	人数 (16回の延べ)
大変参考になった	166
参考になった	81
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	42
計	289

講演内容について (理解度)	人数 (16回の延べ)
大変わかりやすかった	174
わかりやすかった	68
難しかった	7
かなり難しかった	0
無回答	40
計	289

## 【感想・意見】

- ・初めて研修を受けさせて頂き、子どもの世界に少しふれれたと思います。
- ・まだ子どもが小さく、障がいを受け入れだしたのが最近なので、とても勉強になりました。
- ・運動面の苦手さや姿勢の面について遊びを取り入れながらできることをやっていきたい。
- ・事例検討などを多くして欲しい。

## (2) ことばの指導・読み書き・計算 (LD)

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講義をうけ、学習する。

対 象：幼児期・学齢児の保護者、支援者

回 数：1回完結

## ★実施4回

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
豊かなことばを育むために、幼児期にやっておきたいかかわりと支援	7/14	港区民センター	33	28	61
「読み・書き」について、学齢期にやっておきたい関わりと支援	9/29	淀川区民センター	11	17	28
学齢期の「話す・聞く」について	10/27	大阪市中心公会堂	23	19	42
算数でつまずく子どもの理解と指導へのヒント	3/9	大阪産業創造館	21	8	29
計			88	72	160

## ★アンケート結果 (回収率89%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	75
参考になった	46
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	10
計	133

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	72
わかりやすかった	53
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	6
計	133

## 【感想・意見】

- ・実際の現場での指導前後のビデオを視聴でき、具体的でわかりやすかった。
- ・日々の業務で伝えている点と大きく違いが無かったので支援のあり方の再確認ができた。
- ・具体的実践方法を文献の紹介だけでなく、VTRでの教材があればより参考になると思う。
- ・事前に質問を受けて、当日答えられるようにして頂ければ、良いと思った。

### (3) ADHDスポット講座 (ADHD)

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時にもっている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

#### ★実施1回

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
ADHDのある方の特徴と支援	3/1	阿倍野生涯学習センター	19	46	65

#### ★アンケート結果 (回収率86%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	28
参考になった	20
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	8
計	56

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	27
わかりやすかった	27
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	0
計	56

#### 【感想・意見】

- ・ 医師のお話が伺えてよかった。
- ・ 支援者として知っているつもりでも気がついていないことが多く聞けた
- ・ スモールステップの話は大変分かりやすく参考になった
- ・ 発達障がいと統合失調症などの他の精神疾患について聞きたい
- ・ 今後も日曜日に開催してほしい

## 【3】ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法を学習する。

## ★実施9回（幼児3回×1クール、学齢児3回×2クール）

区分	内容	日程	参加者数（延べ）		
			保護者	支援者	計
幼児版	幼児期で身に付けたソーシャルスキルについて	5/26・6/2・9	35	13	48
学齢児版（低学年）	小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	6/16・30・7/7	57	29	86
学齢児版（高学年）	小学校（高学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	1/26・2/2・9	42	12	54
計			134	54	188

## ★アンケート結果（回収率80%）

講演内容について（満足度）	人数（6回の延べ）
大変参考になった	101
参考になった	26
あまり参考にならなかった	5
全く参考にならなかった	0
無回答	18
計	150

講演内容について（理解度）	人数（6回の延べ）
大変わかりやすかった	93
わかりやすかった	34
難しかった	4
かなり難しかった	1
無回答	18
計	150

## 【感想・意見】

- ・自身の子どもの関わり方について反省させられることが多々あった。
- ・受講しただけではなく実際にできるように考えていきたい。
- ・一人を好む子でも友達関係を持つことのルール・楽しさを伝えていきたいと感じた。
- ・質疑応答があればよかった

## 支援者講座

## 【1】集合研修

## (1) 啓発講座

民生委員・児童委員や地域女性団体協議会など、地域で活動されている団体等の市民向け講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

## ★実施61回

対象	内容	会場	日程	参加者数
当事者・保護者・団体等	保育園職員・保護者研修	西成区	4/5	131
	保育園保護者	西成区	2/13	18
	児童発達支援事業所利用保護者	淀川区	5/20	38
		淀川区	5/23	42
		平野区	6/23	34
		中央区	9/26	12
		中央区	10/7	9
		中央区	10/10	16
		中央区	10/24	9
	特別支援学校PTA	平野区	6/27	35
	法人内の相談窓口者	西区	7/10	58
	発達障がいサポーター研修	旭区	7/8	29
	ファミリーサポートセンター職員研修	東住吉	9/6	13
	区事業所勉強会	平野区	8/20	52
			9/26	40
	民生委員研修	東住吉区	10/3	158
		東淀川区	3/4	60
	区PTA	生野区	10/27	24
	区民（家児相主催）	阿倍野区	10/30	24
	区内保護者・区役所職員	東成区	2/24	23
	区市民啓発	生野区	2/27	63
	区子育て支援講座	阿倍野区	3/10	108
	区こども会育成連合協議会	鶴見区	2/7	59
	区成人期当事者家族研修	平野区	7/2	8
	区生活困窮者自立支援	西淀川区	3/25	12
	区学校保健協会	平野区	11/20	108
	地域啓発研修（豊里地区）	東淀川区	11/15	41
	私保連西南ブロック		11/17	35
	自立支援協議会（子ども部会）	東淀川区	11/26	27
	小中合同PTA研修	西成区	11/27	51
	ジョブコーチ研修講師		2/23	54
	親の会	淀川区	7/13	7
		淀川区	9/16	21
		淀川区	1/11	35
	当事者	淀川区	11/31	6
	リハセン新人職員研修	平野区	4/15	30
	家児相研修	北区	6/30	17
		北西部	10/14	13

市職員(家児相・保健師・心理士等)	区役所職員	東成区	9/29	13
		生野区	12/9	61
			12/16	71
			12/19	61
			12/19	71
			12/19	71
	総合医療センター	都島区	3/5	15
	精神保健福祉相談員	全区	9/30	33
	子育て支援室	鶴見区	10/29	128
	生活保護ケースワーカー研修	全区	11/7	29
		全区	12/15	17
	区発達障がいセンター	東成区	11/28	12
	市役所都市計画局企画振興部	北区	12/8	52
	大阪市福祉職員連絡会	全区	12/16	56
大阪市職員人権問題研修		2/23	260	
教育センター		6/18	54	
平野特別支援学校	平野区	7/25	62	
市教委専門家チーム	生野区	8/27	28	
区社協	発達障がい基礎講座	浪速区	5/24	40
		浪速区	7/29	52
		此花区	9/2	26
その他(フリースクール、子育て支援者)	発達障がい基礎講座	北区	7/3	60
		中央区	1/18	30
合 計				2822

## ★アンケート結果 (総実施者数2107人 回収率78%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	731
参考になった	613
あまり参考にならなかった	16
全く参考にならなかった	1
無回答	15
計	1376

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	858
わかりやすかった	729
難しかった	31
かなり難しかった	3
無回答	15
計	1636

## (2) 支援者講座

## 1. 支援者向けソーシャルスキル講座

発達障がいのある児童生徒及び家族の支援者を対象に、ライフステージに応じて必要とされる社会性の指導方法について講義を通じて学習する。

## ★実施3回

内容	日程	会場	参加者数
中高生へのソーシャルスキル・ライフスキル指導方法について	8/4	阿倍野市民学習センター	58
	8/11	難波市民学習センター	65
成人期に必要なライフスキルの指導方法について	8/26	住之江会館	91
計			214

## ★アンケート結果 (回収率91%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	106
参考になった	68
あまり参考にならなかった	3
全く参考にならなかった	0
無回答	18
計	195

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	104
わかりやすかった	68
難しかった	6
かなり難しかった	0
無回答	17
計	195

## 【感想・意見】

- ・実際に当事者のお子さんを持つ立場から講義は心に響くものがあった
- ・基本的な内容多く、もう少し入りこんだものも具体例等で紹介してほしかった
- ・大人の方の対応や家族への対応についても知りたい
- ・触法行為・性の問題の支援について
- ・SSTの具体例や感情のコントロールについてを知りたい
- ・就労のためのスキル (ビジネススキル等) への移行について

## 2. ペアレント・トレーニング トレーナー養成講座

区役所の支援者を対象として、ペアレント・トレーニングの知識と技術を習得することで、支援内容が、よりこどもの個性や発達の特徴にあったものへと、充実させていくことを目的として実施する。

### ★実施1回（2日連続）

日程	会場	参加者数	対象
8/21・28	心身障がい者リハビリテーションセンター 4階第1会議室	10	家庭児童相談員・保健師 心理相談員

### ★アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	8
参考になった	2
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	10

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	7
わかりやすかった	2
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	10

### 【感想・意見】

- ・具体的な例をあげてくれて説明してくださったり、この場面ではお母さん方はこういう反応が多いなど、実際の様子も教えてくださったりよかった
- ・理論は、本を読んだり研修を受けて、理解していたつもりでしたが、実際に発表したり、ロールプレイをすることで、改めて見えてくることもあり、今後個別での対応に取り入れていく上でも勉強になりました
- ・実際にグループを作ってペアトレをしていくことは、難しそうなのですが、まずは個別相談の中でペトレのエッセンスを活かしていきたい
- ・トレーナーとしての心構え、理論、実践が同時進行に今回の講座では有ったので、今後整理していきたいと思います。

## 【2】機関コンサルテーション

## (1) 出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施48回

対象	内容	日程	参加者数
保育所・園	発達障がい基礎講座	4/26	41
		5/15	15
		5/20	10
		6/14	25
		6/23	18
		7/12	25
		8/23	14
		9/5	18
		9/6	28
		9/12	14
		9/16	16
		9/20	12
		9/24	16
		10/27	21
		11/8	40
		11/14	17
		11/15	13
			1/6
	1/7	20	
	1/23	15	
	2/18	22	
幼稚園	発達障がい基礎講座	5/20	5
専修学校	発達障がい基礎講座	5/21	39
		1/21	15
障がい児支援機関（児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所）	発達障がい基礎講座	6/10	11
		6/18	15
		8/18	18
		2/10	4
		2/13	4
青年・成人期支援機関（就労移行支援・就労継続A・B、生活介護、施設入所支援・GH・CH等）	発達障がい基礎講座	4/18	12
		5/9	6
		5/22	17
		5/29	17
		6/13	5
		7/18	12
		7/22	10
		10/24	25
		10/28	15
		2/20	12
3/20	11		

居宅介護	発達障がい基礎講座	8/18	13
		11/12	30
		2/28	31
相談支援	発達障がい基礎講座	9/9	15
障がい者支援機関(社福法人、NPO法人等全職員)	発達障がい基礎講座	5/17	26
		6/7	47
		7/11	54
その他(社協など)	西成区ケアマネ研修	6/24	36
合 計			923

★アンケート結果 (総実施者数 593人 回収率100%)

講演内容について(満足度)	人数
大変参考になった	376
参考になった	198
あまり参考にならなかった	13
全く参考にならなかった	0
無回答	6
計	593

講演内容について(理解度)	人数
大変わかりやすかった	368
わかりやすかった	204
難しかった	13
かなり難しかった	0
無回答	8
計	593

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施延べ536回・144か所

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	313	70
障がい児通所施設	33	10
教育関係機関	12	3
成人期支援機関	116	32
障がい児・者相談支援機関	18	6
居宅介護事業所	5	4
社会福祉協議会	5	1
区役所(保健福祉含む)	27	11
労働関係機関	4	4
その他	3	3
計	536	144

### 【3】成人支援講座

#### (1) 成人スキルアップ講座

##### ①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（26年度は6事業所）をモデルに、年2～3回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス講座・中間報告会・スキルアップ講座まとめを行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

#### ☆成人スキルアップ講座の流れ

↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

<実施事業所の募集と選定>

##### ○ガイダンス講座

↓ 機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

↓ 第1回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際には助言内容実施後の変化の状況を共有し、必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施する。

##### ○中間報告会

↓ 各事業所2回のコンサルテーションの実施を踏まえ、課題点の整理とコンサルを受けて施設内で物理的構造化、環境設定、対応方法等をどのように取り組んだか、また、成果として施設内での利用者及び支援者にどのような変化が見受けられたかなどを、発表を基に最終コンサルテーションの方向性を明確化する。

##### ○成人スキルアップ講座まとめ

↓ 2回の訪問コンサルテーションを踏まえるとともに、施設独自の取り組み内容を整理し、実践報告会として実施する講座（2/7予定）までに追加で実施したこと等、支援の方向性、コンサルテーションの必要性を確認する。

##### ○公開講座：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

## (2) 成人スキルアップ講座の各講座の実施状況

## ①基礎講座

## ★実施1回

内容	日程	参加者 内訳				
		行政	事業者 支援者	家族 本人	未記入	計
発達障がいのある成人期の支援について	5/30	7	78	13	3	101

## ★アンケート結果 (回収率 77%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	23
参考になった	39
あまり参考にならなかった	11
全く参考にならなかった	1
無回答	4
計	78

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	35
わかりやすかった	38
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	3
計	78

## 【感想・意見】

- ・ 講義+事例 (映像) スタイルで、分かりやすく自閉症の問題行動を捉えることができた
- ・ 具体的なケースが映像としてみることができ、支援方法について実感できた
- ・ 質疑応答があればなおよいと感じました
- ・ 施設の抱える内容でなかったため、もう少し事例検討をして欲しかった

## ②ガイダンス講座

## ★実施1回

内容	日程	参加者
コンサルテーションの意義等	6/27	(6施設) 22

## ③中間報告会

## ★実施済み (1回)

内容	日程	対象	参加者
取組内容や成果から今後のコンサルテーションの方向性を明確にする	10/3	障がい者支援機関	20

## ④成人スキルアップ講座まとめ

## ★実施済み (1回)

内容	日程	対象	参加者
取組内容の整理、支援の方向性、コンサルテーションの必要性など	12/5	障がい者支援機関	14

## 【スキルアップ事業の実施状況】

事業所	施設種別 (主たる対象者)	対象者の概要・課題点	コンサル内容・取り組み	対象者の変化
①	就労継続A (知的・精神) 高機能発達障がい者の受け入れも可	20代男性 療手B1 広汎性発達障がい(学齢期まで通常教育、成人期に入り診断の際知的面も指摘)  施設外作業(放置自転車整理)にて一般市民に威嚇する行動がある。	・就労活動の課題についてのアセスメント →実際に想定される場面の練習 ・チェックリスト形式の日報の作成 →課題をもって活動時間を過ごす・手順書の作成 確実にできる成功体験の構築	・一般市民への適度な挨拶ができるようになった ・判断に困った時は職員に聞くことができたようになった スケジュール・手順書により見通しが持つことができ、自ら次の動きを取ることができるようになった
②	就労移行・就労継続B (身体・知的・精神)	10代男性 療手A 自閉症  休憩時間中における他の特定の利用者への粗暴行為、作業資材への落書き。	・問題となる行動の背景を客観的に分析(行動データシート) ・イライラ時の意識のそらし方の工夫について→注意よりルール設定 ・休憩時間の整理→本人用の空間設定	・自身と支援者で作業内容を決め、集中して取り組めるようになった ・不快な感情を自ら伝えることができたようになった ・休憩時間とエリアを設定し、落ち着ける環境を設定することで静かに過ごすことができるようになった
③	就労移行・就労継続B (身体・知的・精神)	20代男性 療手A 自閉症  単独通所の際、駅等の非常ベルを鳴らす。作業はできるが、少し離れた他の利用者の作業の間違いを指摘しに行くことがある。	・通所の道程を視覚化し確認できるように→不安を減少させるアイテムの作成 ・他の作業を意識する⇔自身の作業に集中させるという発想の転換よりトークン(代替通貨)の利用を助言	・道程のスケジュール化を簡単なスマホアプリを作成し利用提案→原因は道中の第三者の干渉が要因と分かり未実施→再検討し「ローカード(ヘルプカード)」を携帯し要援助な点を表示 ・報酬として自身の好むアイテムをバスルパーツにして渡す→集中力生産性UP
④	就労継続B・生活介護 (知的)	30代男性 療手A 自閉症  事業所内の特定の女性へのこだわり行動。身体に触ろうとするためトラブルになる。	・不安定になる要素・頻度を知る→記録を付ける ・こだわりの正しい終わり方を見つける→日課の充実を図る ・事業所内でやるべき活動を明確化する→作業活動を視覚的に掲示・作業の進め方の検討	・不安定時の記録をカレンダーに付けると私用で休んだ翌日に表出が判明。 ・スケジュールにより作業と休憩を明確にし作業量を明確にし視覚的聴覚的刺激を整理するため「バージョン・ヘッドホン」の使用→集中力(+)自発的行動が増え他者への不要な関わりが減った
⑤	生活介護 (知的)	20代男性 療手A 自閉症  昼食時、特定利用者の食べ方を気にしながらの摂食。食べる順番のこだわりもある。特定利用者が食べ終わると一気に詰め込む行動がある。	・食事場面での記録と観察の実施を提案 →箸の開閉が上手にできないため手でつかむ、食べる順番や量、飲み込むタイミングなどある一定の動きをすることが判明、また周囲の食べ方も気にしている	・空の食器等で明確な食べる順番と量を写真で具体的に提示することによって行動の変化が見られた。 ・一気に詰め込むことがなくなった ・行事等の環境が変わった際もモデルとなる支援者の食べ方を見て適切に食事を摂ることができた
⑥	生活介護 (知的)	10代男性 療手A ソトス症候群  作業の集中力が持たずなかなか進まない。対職員への粗暴な行動、自傷行為もある。	・他者が気になることから個別の作業空間の提案、また時間を細かく(30分単位)区切った時間設定と合間の小休憩時間に本人の好む余暇・感覚グッズを探す ・一人で完結でき達成感を得る事のできる作業の提供	・バージョンで区切り個別スペースで落ちついて作業可能となる。作業の報告等もできるようになり成功体験が増えた。 ・注視の対象が人からモノに移りし落ち着いて行動できるようにもなった

## (3) 成人支援公開講座(基礎講座+実践報告)

基礎講座として、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施。

実践報告会としては、6事業所より2回のコンサル訪問以降の経過ならびに、中間報告・最終の訪問を踏まえ、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加施設より報告。担当コンサルタントより講評や助言を頂き、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言していただいた。

## ★実施1回

内容	日程	参加者 内訳				
		行政	事業者 支援者	家族 本人	未記入	計
自閉症支援における問題行動の対応	2/7	1	103	9	0	113

## ★アンケート結果（回収率 60%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	14
参考になった	44
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	8
計	68

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	16
わかりやすかった	44
難しかった	2
かなり難しかった	1
無回答	5
計	68

## 【感想・意見】

- ・ 講義＋事例（映像）スタイルで、分かりやすく自閉症の問題行動を捉えることができた
- ・ アセスメントをしっかり行うことが重要であることが再確認できた
- ・ Plan-Do-Seeの重要性について定期的な確認と検討（振り返り）の重要性を確認できた
- ・ 質疑応答があればなおよいと感じました
- ・ 施設の抱える内容でなかったもので、もう少し事例検討をして欲しかった